

令和7年度 北の沢小学校 学力学習状況調査の結果と分析

(1) 教科に関する調査の結果と分析

【小学校国語】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【内容】</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「読むこと」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度である。</p> <p>「書くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 ▶ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。 ▶ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、材料を集めて伝え合う内容を検討すること。 ▶ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 漢字のもつ意味を理解し、文の中で正しく書く学習活動の充実。 ▶ 普段使っている言葉とは異なる言葉があることや、それぞれの世代には特有の言葉遣いがあることに気付き、自分たちの言葉への関心を深める学習活動の充実。 ▶ 集めた材料を分類したり関係付けたりして、目的や意図に応じてどのようにインタビューを進めたらよいかを考える学習活動の充実。 ▶ どのような順序によって説明されているかを考えながら文章の構造を大まかに捉え、それを手掛かりに内容を正確に理解する学習活動の充実。

小学校
国語

【小学校算数】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】 「数と計算」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「図形」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「変化と関係」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「データの活用」 ◆全国平均を下回っている。</p> <p>「測定」 ◇全国平均とほぼ同等である。</p>	<p>▶ 分母が異なる分数の足し算の計算の仕方について説明すること。</p> <p>▶ 数直線上に示された数を分数で表すこと</p> <p>▶ 異分母の分数の加法の計算をすること。</p> <p>▶ 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。</p> <p>▶ 五角形を二つの図形（三角形と四角形）に分割して面積の求め方を考えること。</p> <p>▶ 日常の事象について伴って変わる二つの数量の関係に着目して考察すること。</p> <p>▶ 目的に応じて表やグラフからデータの特徴や傾向を捉え考察すること。</p>	<p>▶ 分数の計算について、単位分数に着目して、計算の仕方について考察し、表現する学習活動の充実。</p> <p>▶ 数直線上の1目盛りの大きさに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える学習活動の充実。</p> <p>▶ 分母の最小公倍数を用いて通分し、分数の加法の計算をする学習活動の充実。</p> <p>▶ 図形の性質を理解し、コンパスや定規などの道具を用いて図形を作図する学習活動の充実。</p> <p>▶ 多角形の面積の求め方について、既習の図形に分割し、求め方を式や言葉で表す学習活動の充実。</p> <p>▶ 見いだした数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する学習活動の充実。</p> <p>▶ 必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察するなど、統計的に問題を解決する学習活動の充実。</p>

小学校
算数

【小学校理科】

小学校
理科

本校の概要

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域

◆全国平均を下回っている。

「粒子」を柱とする領域

◆全国平均を下回っている。

「地球」を柱とする領域

◆全国平均を下回っている。

「生命」を柱とする領域

◇全国平均とほぼ同等である。

課題

➤ 電磁石の強さと巻数の関係を理解すること。

➤ 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解すること。

➤ 水は温まると体積が増えることを根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

➤ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導き理由を表現すること。

改善の方向

➤ 観察や実験したことを、言葉で説明したり、図に整理したりするなど、知識と関連付けて理解を深める学習活動の充実。

➤ 自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深める学習活動の充実。

➤ 習得した知識を他の学習や生活に関連付けて、知識を身に付ける学習活動の充実。

➤ 考察する際、結論の根拠は何かを考える学習活動の充実。

(2) 児童質問紙調査の結果の概要

人間尊重の教育に係る質問

質問事項	肯定的な回答 (%)		
	本校	札幌市	全国
自分にはよいところがある	86.4	85.4	86.9
先生は、あなたのよいところを認めてくれている	100.0	92.3	92.3
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	72.8	68.5	70.6

「人間の尊重の教育」に係る質問に肯定的な回答をしている児童の割合については、全国よりやや高く、前年度より増加している。

課題探究的な学習に係る質問

質問事項	肯定的な回答 (%)		
	本校	札幌市	全国
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	72.7	80.4	80.3
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	72.8	83.8	83.4
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる	81.8	82.2	82.5
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている	86.4	87.5	87.4

5年生までに受けた授業に係る質問では肯定的な回答の割合が全国より低いが、6年生での授業に係る質問では全国と同程度である。

教科の学習に係る質問

質問事項	肯定的な回答 (%)		
	本校	札幌市	全国
国語の授業の内容はよく分かりますか	95.5	83.7	82.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	77.3	75.4	78.3

「授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は、算数では全国より高く、国語では全国と同様にやや低い傾向がみられる。